

【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

## 北朝鮮を震源とする地震波の観測について

平成28年9月9日（11：45現在）

官 邸 対 策 室

※日時は、特段の注記のない限り日本時間

### 1. 事案の概要

9月9日9時30分頃 北朝鮮における地震波を観測

### 2. 政府による情報収集

平成28年9月9日9時30分頃（日本時間）、気象庁が、北朝鮮付近を震源とする地震波を観測。気象庁によれば、この地震は、自然地震ではない可能性がある。

○ 発生時刻

平成28年9月9日9時29分57秒

○ 地震の震源、規模

震源 : 北緯41.3度、東経129.2度

震源の深さ : 0km

規模 : マグニチュード5.3

### 3. 政府の主な対応

9：38 気象庁より第一報

9：38 総理指示

- 関係省庁においては、緊張感を持って情報収集・分析に努めること
- 国民に対して的確な情報提供を行うこと
- 米国、韓国、中国及びロシアを始めとする関係諸国と連携を図ること

10：01 緊急参集チーム協議

10：11 官房長官会見

10：50 総理会見（ぶらさがり）

11：17 国家安全保障会議（四大臣会合）

11：34 総理指示

- 北朝鮮の今後の動向等に関し、情報収集・分析の徹底を期すこと
- 核実験に伴う放射性物質の影響を把握するため、関係各国と連携しモニタリング態勢を強化すること
- 不測の事態にも備えるなど、国民の安全・安心の確保に万全を期すこと

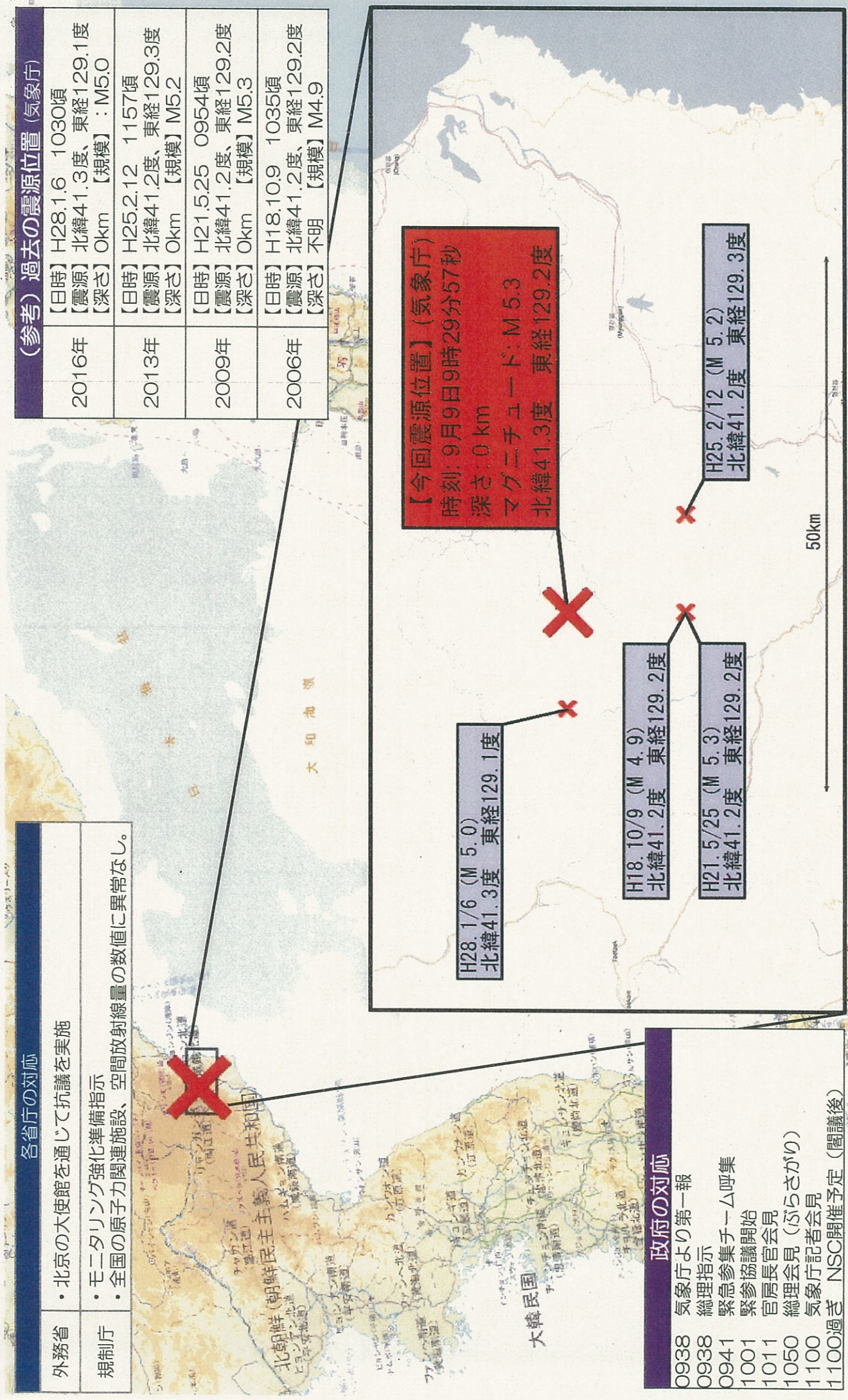
今回の地震波の観測を受け、北京の「大使館」ルートを通じて北朝鮮に対して厳重に抗議

# 北朝鮮を震源とする地震波の観測について (自然地震ではない可能性) (9/9 9:30頃発生)

【官邸対策室】  
第3報 (H28. 9/9 11:00 現在)

各省庁の対応	
外務省	・北京の大使館を通じて抗議を実施
規制庁	・モニタリング強化準備指示 ・全国の原子力関連施設、空間放射線量の数値に異常なし。

(参考) 過去の震源位置 (気象庁)	
2016年	【日時】 H28.1.6 1030頃 【震源】 北緯41.3度、東経129.1度 【深さ】 0km 【規模】 : M5.0
2013年	【日時】 H25.2.12 1157頃 【震源】 北緯41.2度、東経129.3度 【深さ】 0km 【規模】 M5.2
2009年	【日時】 H21.5.25 0954頃 【震源】 北緯41.2度、東経129.2度 【深さ】 0km 【規模】 M5.3
2006年	【日時】 H18.10.9 1035頃 【震源】 北緯41.2度、東経129.2度 【深さ】 不明 【規模】 M4.9



【今回震源位置】 (気象庁)  
時刻: 9月9日9時29分57秒  
深さ: 0 km  
マグニチュード: M 5.3  
北緯41.3度 東経129.2度

H28. 1/6 (M 5.0)  
北緯41.3度 東経129.1度

H18. 10/9 (M 4.9)  
北緯41.2度 東経129.2度

H21. 5/25 (M 5.3)  
北緯41.2度 東経129.2度

H25. 2/12 (M 5.2)  
北緯41.2度 東経129.3度

政府の対応	
0938	気象庁より第一報
0938	総理指示
0941	緊急参集チーム呼集
1001	緊参協議開始
1011	官房長官会見
1050	総理会見 (ぶらさがり)
1100	気象庁記者会見
1100過ぎ	NSC開催予定 (閣議後)